

令和 6 年度

事 業 報 告 書

令和 7 年 6 月

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

目 次

	ページ
1 管理部門	
(1) 法人の概要	3
(2) 理事会・評議員会等	4
2 事業部門	
1 「精神障害者等」の社会参加への支援	
イ 精神科デイケア事業（こころのリカバリー総合支援センター）	
① 精神科デイケアの実施	
a デイケア事業概況	5
b 令和6年度に在籍した通所者の概要	5
c 年度別通所開始者・終了者数	6
d 年度別通所終了者の理由	6
e 通所希望見学者及び受理面接者数	6
f デイケア年間行事実施状況	7
g 関係団体の支援及び各種行事への参加状況	7
h 地域生活支援事業	7
② O B会活動支援	
a アフターケア（O B会）関連業務	8
③ 家族会活動支援	
a 家族会関連業務	8
ロ 障害者就労支援事業	8
ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業	8
(1) 多機能型事業所の運営	
① 就労継続支援B型事業所の運営	
a メンバーの概要	9
b 福祉手帳取得状況	9
c 通所者数	9
d 工賃	9
e 活動内容	10
② 就労定着支援事業所の運営	12
(2) 相談支援事業所の運営	
① ココクルの運営	12
2 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及	
イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業	
① 地域精神保健スタッフ等研修事業	
a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座	12
② 実習生、見学の受け入れ事業	
a 施設見学等来所者状況	13
b 実習受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ	13
③ 各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業	13
④ 市民講座の開催	13
⑤ 障害者のスポーツ振興への協力	13
⑥ 精神障がい者地域移行研修事業の実施	
（北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業））	
a 地域移行研修	14
b 地域移行エリア交流（課題・テーマ別）研修会	17
c ピアサポーター研修会	17
d その他	18
ロ 高次脳機能障害者支援事業等	
① 相談窓口及びリハビリ提供・地域生活支援事業【在宅生活支援事業】	19
ハ ひきこもり対策推進事業	
① 北海道ひきこもり成年相談センターの運営	
② 札幌市ひきこもり地域支援センターの運営	
a 相談支援実施状況	22
b 支援ネットワークの構築等	24
c 普及啓発、事業概要説明	24
③ 研修会	25

3	会計部門	
	貸借対照表	2 6
	正味財産増減計算書	2 8
	正味財産増減計算書内訳表	3 0
	財産目録	3 2
	財務諸表に対する注記	3 3
	収支計算書	3 6
	収支計算書に対する注記	3 8

4	監査報告	
	監査報告書	3 9

資料編

1	理事・監事・評議員名簿	4 0
2	財団法人設立の経過等	4 0
3	施設の概要	4 1
4	基本財産	4 1

1 管 理 部 門

(1) 法人の概要

【事業内容】

公益財団法人北海道精神保健推進協会は、精神保健思想の啓発普及と精神障害者等(メンタルヘルスケアの諸問題を抱える人を含む。)の社会参加を促進し、精神障害者等の福祉の向上に寄与することを目的として運営しており、定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- ・精神保健思想の啓発普及
- ・精神障害者等の社会復帰のための医療施設(デイケア及び診療所)の設置及び運営
- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- ・障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業・特定相談支援事業
- ・障害者地域生活支援センター等の相談支援事業に対する指導援助
- ・精神障害者等の就労・雇用に向けた支援
- ・地域精神保健・医療・福祉充実のための支援
- ・精神保健医療福祉に関する調査研究
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業

○法人の主な事業

精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を図ることを目的に、精神科デイケア施設(独立型)である「こころのリカバリー総合支援センター」を運営するとともに、多機能型事業所として、「ここリカ・プロダクション」を運営している。また、相談支援事業所「ココクル」を設置している。

「リカバリーセンター」では医学的管理のもとに、通所者への個別的相談や指導、社会的自立のための基礎的訓練、生活指導、作業訓練、レクリエーション、体力づくりなどを週間プログラムに沿って実施している。

また、北海道から委託事業として、高次脳機能障害者の受け入れ(平成16年度～)や精神障害者の入院から地域生活への移行支援事業の実施(平成19年度～)、「北海道ひきこもり成年相談センター」の運営(平成21年度～)を行うほか、札幌市からの委託事業として、「札幌市ひきこもり地域支援センター」(平成27年度～)の運営を行っている。

【役員】 理事9名・監事2名・評議員9名
※氏名等資料編(40P)に掲載

【法人職員】(合計18名:常勤職員12名、非常勤職員6名)※R7.3.31現在

○「こころのリカバリー総合支援センター」

- ・常勤職員 7名 [所長(医師・理事長)、事務職員1名、精神保健福祉士3名、
作業療法士1名、保健師1名、(精神保健福祉士・兼務1名)]
- ・非常勤職員 3名 [医師1名、作業療法士1名、事務職員1名]

○就労継続支援B型事業所「ここリカ・プロダクション」

- ・常勤職員 4名 [管理者(精神保健福祉士)、職業指導員(精神保健福祉士)1名、
目標工賃達成指導員1名、生活支援員1名]
- ・非常勤職員 3名 [調理員 3名]

○相談支援事業所「ココクル」

- ・常勤職員 1名 [管理者(精神保健福祉士)、(相談員(精神保健福祉士・兼務))]

(2) 理事会・評議員会等

区 分	年月日、会場等	議事等の内容
当法人監事による令和 5 年度 決算等監査	令和 6 年 5 月 15 日 於：こころのリカバリー総合 支援センター	令和 5 年度 事業の実施状況、 予算執行状況、財産目録等関係 帳票の監査 (出席) 監事 2 名
令和 6 年度第 1 回理事会	令和 6 年 6 月 6 日 かでの 2・7 1010 会議室	令和 5 年度 事業報告、決算報 告及び令和 5 年度補正予算等
評議員選定委員会	令和 6 年 6 月 12 日 かでの 2・7 630 会議室	評議員の選任について
令和 6 年度度第 1 回評議員会	令和 6 年 6 月 26 日 かでの 2・7 920 会議室	令和 5 年度 事業報告、決算報 告及び令和 5 年度補正予算等
令和 6 年度第 2 回理事会	令和 6 年 6 月 26 日 書面表決	理事長副理事長常務理事の選 定について等
令和 6 年度第 2 回評議員会	令和 6 年 7 月 17 日 書面表決	評議員選定委員会委員の選任 について
令和 6 年度第 3 回理事会	令和 7 年 3 月 17 日 かでの 2・7 920 会議室	令和 7 年度事業計画、収支予算 等
令和 6 年度第 3 回評議員会	令和 7 年 3 月 19 日 かでの 2・7 940 研修室	令和 7 年度事業計画、収支予算

2 事業部門

1 「精神障害者等」の社会参加への支援

イ 精神科デイケア事業（こころのリカバリー総合支援センター）

① 精神科デイケアの実施

a デイケア事業概況

R5										R6				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開設日数	22	21	22	23	22	21	23	21	22	20	19	20	256	
月間在籍者数 下段：高次脳再掲	153	151	149	148	150	147	149	152	154	155	158	158		
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
延べ出席者数 (デイケア等) 下段：高次脳再掲	566	529	531	624	559	557	561	496	501	465	484	511	6,384	
	48	48	49	54	52	41	40	42	37	36	35	40	522	
通所開始 下段：高次脳再掲	3	2	1		4	1	2	4	4	1	4	1	27	
													-	
通所終了 下段：高次脳再掲	4	3	1	2	4		1	2		1	1	10	29	
													-	
一日平均出席数	25.7	25.2	24.1	27.1	25.4	26.5	24.4	23.6	22.8	23.3	25.5	25.6	24.9	

b 令和6年度に在籍した通所者の概要

表. 1-1 通所者の件数

	男	女	計
前年度から継続	107	43	150
当年度に通所開始	17	10	27
計	124	53	177

表. 2-1 通所者の年齢

年齢区分	男	女	計
10～19歳	1	2	3
20～29歳	31	16	47
30～39歳	35	17	52
40～49歳	32	11	43
50歳以上	25	7	32
計	124	53	177
平均年齢	36.2	39.2	37.7

表. 3-1 疾患別状況

	人数	構成
F2 統合失調症	42	23.7%
F3 気分（感情）障害	45	25.4%
F4 神経症性障害	25	14.1%
F6 人格障害	0	0.0%
F7 精神遅滞	5	2.8%
F8 発達障害	40	22.6%
F9 行動および情緒の障害	8	4.5%
G4 てんかん性障害	2	1.1%
G9 神経系のその他の障害	0	0.0%
高次脳機能障害（※）	10	5.6%
計	177	100%

※疾患別状況（高次脳機能障害内訳）

	人数	構成
F04 器質性健忘症候群	7	70.0%
F06 脳損傷、脳機能不全および 身体疾患による他の精神障害	1	10.0%
F07 器質性パーソナリティ行動障害	2	20.0%
計	10	100%

表. 4-1 通所年数

通所年数区分	通所者	終了者	計
1年未満	23	7	30
1年以上～3年未満	28	2	30
3年以上～5年未満	23	10	33
5年以上～10年未満	36	4	40
10年以上	38	6	44
計	148	29	177
平均通所年数	6年4ヶ月	5年11ヶ月	6年3ヶ月
最短通所年数	8日	1ヶ月	
最長通所年数	25年8ヶ月	22年8ヶ月	

表. 5-1 出席状況

通所日数区分	在籍者	終了者	計
50日以下	109	28	137
51日以上～100日以下	24		24
101日以上～150日以下	7	1	8
150日以上～200日以下	5		5
201日以上	3		3
計	148	29	177
平均通所日数	41.9	6.5	36.1

c 年度別通所開始者・終了者

（高次脳機能障害 再掲）

（単位：人）

年 度	通所開始者	通所終了者
昭和63年度～令和5年度 高次脳機能障害	980 49	824 41
令和6年度 高次脳機能障害	27 0	29 0
計	1007 49	853 41

d 年度別通所終了者の理由

	年 度	就労・就学	事業所	在宅	中断	入院	死亡	その他	計
総数	昭和63年度～令和5年度 （高次脳機能障害 再掲）	141 (4)	181 (15)	174 (11)	40	233 (6)	11 (2)	42 (3)	822 (32)
	令和6年度 （高次脳機能障害 再掲）	3	8	9	0	4	1	4	29
									0
	総計	144 (4)	189 (15)	183 (11)	40	237 (6)	12 (2)	46 (3)	851 (32)

e 通所希望見学者及び体験者数

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学・体験者数	精神科デイケア	2	1	4	4	2	4	6	4	5	7	5	3	47
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

f デイケア年間行事実施状況

月	日	行事名	人数（メンバー）
4	29	特別デイケア	24
6	15	イベント「こころカフェサマーイベント」	21
7	13	特別デイケア	21
8	10	特別デイケア	14
9	14	センター祭・市民公開講座	54
10	14	特別デイケア	23
11	4	特別デイケア	17
12	28	特別デイケア	22
1	13	特別デイケア	10
2	24	特別デイケア	23

g 関係団体の支援及び各種行事への参加状況

月	日	行事名
4	22	札家連 家族講座
5	29	札家連 家族講座
6	24	札家連 家族講座
6	25	第12回北海道チャンピオンズカップ（フットサル） 参加
7	24	札家連 家族講座
8	28	札家連 家族講座
9	18	第31回 札家連ソフトボール大会1日目
9	28	札家連 精神療養講座「障がい福祉サービス合同展示会」 参加
10	3	第31回 札家連ソフトボール大会2日目
10	30	札家連 家族講座
11	20	札幌市自立支援協議会清田地域部会こころのチーム共催研修会 講師
11	22	札家連 家族講座
12	25	札家連 家族講座
12	28	ソーシャルフットボールサポーターズカップ2024 参加
1	29	札家連 家族講座の打合せ
2	14	札家連 家族講座の打合せ
3	10	札家連体育大会 参加

h 地域生活支援事業

・地域生活支援業務

（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
家族訪問及び同行支援	7	6	3	4	3	4	3	4	4	5	15	7	65
関係機関とのケース会議	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
関係機関連携（電話・来所等）	2	3	2	0	3	4	1	1	1	1	0	0	18

・個別相談関連業務件数

（ ）は高次脳再掲（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
メンバー	31 (0)	69 (3)	49 (6)	58 (4)	61 (0)	64 (1)	62 (1)	43 (1)	48 (1)	54 (0)	47 (0)	80 (0)	666 (17)
OB	0 (0)	7 (1)	4 (1)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	7 (1)	0 (0)	4 (1)	5 (2)	3 (0)	1 (0)	36 (6)
家族	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	8 (1)	2 (1)	1 (0)	17 (3)
一般	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)

② ＯＢ会活動支援

a アフターケア（ＯＢ会）関連業務

月	日	曜日	内 容	場 所	参加人数
9	25	水	機関紙（こまん・たれ・ぶー）編集・発送	こころのリカバリー総合支援センター	1
11	20	水	元気でやっとなる会（交流会）	エゾバルバンバン札幌駅前通り店 （札幌市中央区）	5

③ 家族会活動支援

a 家族会関連業務

（単位：人）

毎月第1水曜日に会報誌「窓」の発送を行っている。

月	日	曜日	内 容	出席人数
4	17	水	令和5年度リラの会総会	15名
5	15	水	DVD鑑賞 SSTリーダー高松先生の「回復力を高める会話」など	13名
6	19	水	訪問型相談室「あぷあ」三上さんのお話 子供への対応、コミュニケーションの取り方など	8名
7	17	水	北海道博物館及び開拓の村見学	8名
8	21	水	センター祭打合わせと話し合い 調理販売メニューの打ち合わせと近況報告など	9名
9	17	水	センター祭参加 調理販売。メンバー調理の販売手伝いも。	14名
10	16	水	「臨床美術」の体験 NPO法人アート・ウィズ・ライト代表を招いて	7名
11	20	水	阿部所長の話 「みんなねっと北海道大会」オープンダイアログ参加の感動など	12名
12	18	水	話し合い 今年の振り返っての話し合い	6名
1	15	水	新年互例会 今年の抱負などを話し合い	9名
2	19	水	スタッフ林さんのお話 「親子でストレスなく暮らすコツ」について	8名
3	19	水	1年を振り返って話し合い 今年を振り返りながら来年度の例会内容など	6名

□ 障害者就労支援事業

ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

（１） 多機能型事業所（就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）の運営

① 就労継続支援Ｂ型事業所の運営

当事業所では、講義や実習生の受け入れを通じて精神障碍当事者の経験を伝える取り組みを行っており、講話形式に加えて、リビングライブラリーの手法を活用した啓発活動「にんげん図書館」による啓発活動を実施している。令和６年度は、

公開市民講座や砂川市の当事者団体等と協働したイベントに参加し、一般の方々に体験談を話す機会を得た。

また、情報発信については、ラジオ放送のほか、YouTube などの動画配信サービスも活用し、自主的な企画による発信活動も展開している。映像制作や会議・研修中継の業務については、前年から継続して依頼されており、引き続き対応している。

なお、令和 6 年度中に 1 名が一般就労により退所している。

a メンバーの概要 （令和 7 年 3 月 31 日現在）

○登録者 10 名

○性別： 男性 7 名、女性 3 名

○年齢： 平均 42.3 歳 （最低 25 歳、最高 59 歳）

○障害の状況：

障害名	人数
知的障害	1
精神障害	9
計	10

b 福祉手帳取得状況 （令和 7 年 3 月 31 日現在）

手帳等級	人数
療育手帳 B	1
療育手帳 B ー	2
精神保健福祉手帳 2 級	5
精神保健福祉手帳 3 級	2
計	10

c 通所者数

通所状況

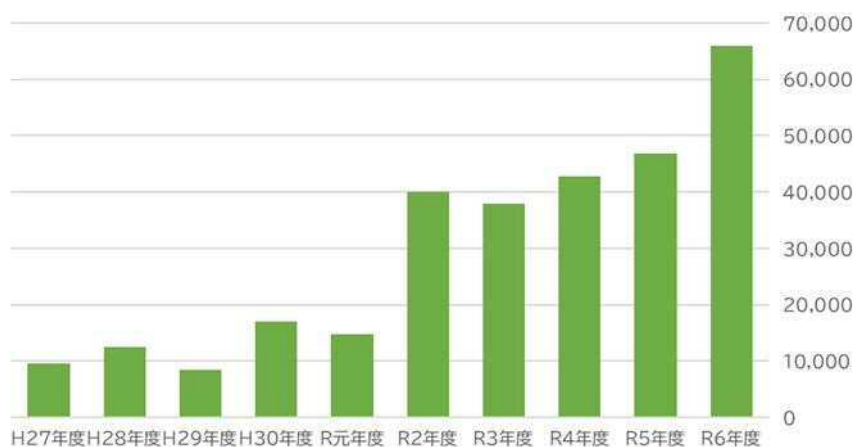
令和 6 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
登録人数	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.2
平均通所者数/日	8.9	8.7	8.1	8.2	6.7	7.6	7.0	7.0	8.1	7.8	7.8	7.0	7.7

d 工賃

○支給額

工賃支給額	5,860,842 円
平均工賃月額	66,001 円

○工賃支給実績の推移



令和5年度より平均工賃月額の算出方法が変更されている。

e 活動内容

○行政との協働（委託事業など）の実績

市町村名	内容
札幌市	居場所「よりどころ」のリーフレットに使用するイラスト（似顔絵）制作を行った

○他の NP0・市民活動団体との協働の実績

区分	件数	内容
防災に関する研修	1 件	東白石地区を対象とした災害時用配慮者避難に関する研修会の企画運営を行った。
商品販売	1 件	当事業所で制作した商品を北広島福祉ショップふゅーるで通年販売した。
デザイン制作	2 件	麦の子会生活発表会の DVD ラベルに使用するイラスト作成及び精神障害者支援の会ヒットの似顔絵作成を行った。
地図校正	1 件	白石区柏町内会の地図校正を行った。
書籍販売取扱業務	1 件	北海道大学病院リハビリテーション部発行の高次脳機能障害の書籍「今日はいくもり、明日は晴れ」の注文対応及び発送業務を行う。取扱数は 28 冊であった。
封入作業	2 件	北海道精神保健協会機関紙「心の健康」の封入作業及び高次脳機能障害リハビリテーション講習会の案内文・ポスターの封入作業を行った。

○講義実績

区分	依頼先
精神保健福祉学科等	6 大学 2 専門学校
作業療法学科	3 大学 2 専門学校
看護学科	5 大学
その他	7 団体 10 校（小学校 5、中学校 3、高校 2）

講義では、グループワークや面接演習に加え、「にんげん図書館」などを通じて当事者の語りによる理解の機会を取り入れており、こうした体験を通じて、支援を必要とする人々の思いや背景への理解を深めている。また、道内の小・中・高等学校にお

いても、障害当事者が体験談を語る機会を設け、メンタルヘルスの大切さや多様な価値観に触れるきっかけを提供している。

○撮影・映像制作（依頼による）

区分	件数	内容
撮影・映像制作	22 件	障害者技能競技会のダイジェスト映像、学習教材映像、研修会記録映像等の制作
オンライン配信	9 件	研修会などのオンライン配信

前年度と比較して、研修教材の制作依頼は 2 件増加しており、オンライン配信研修会の件数は 7 件減少した。

○撮影・映像制作（自主企画による）

作品名	回数	摘要
当事者がきく～北海道にゆかりのあるパイオニアの声～Vol.8 向谷地生良氏	1 回	DVD 販売
Youtube ライブ配信・収録配信	10 回	朗読リレー企画、ゲーム配信、トーク番組、ロードムービー他

向谷地氏へ令和 2 年に取材した動画を再編集し、DVD 販売を行った。YouTube チャンネルを活用し、事業所スタッフ・メンバーの情報発信の場を設けている。スタジオ配信に加えて、移動中の車内でのメンバーの自然な様子をありのままに伝える新企画も展開し、発信内容の幅を広げている。

○ラジオ放送

番組	回数	放送局／周波数	摘要
「ここプロありのままラジオ ～ファンキーで行こう！」 毎週木曜日 14:30～15:00 放送	51 回	エフエムアップル 76.5MHz	令和元年 5 月 より放送

○イベント企画

- 第 3 回にんげん図書館 in 砂川オアシスパーク
- 当法人公開市民講座「がんばらないのも仕事のうち」
- ここプロ in サツゲキ ～ここプロ 10 周年記念～

令和 6 年度は、にんげん図書館を砂川市の当事者団体等と共催して行った。これは、「生きている本（当事者）」を「読者（参加者）」へ貸し出すという図書館に見立てた対話型のイベントである。市民公開講座では、センター祭の一つのプログラムとして阿部理事長との対談を実施し、メンバーが司会やパネリストを務め、企画・運営を担った。ここプロ開所 10 周年を記念し、サツゲキの映画館のシアターを貸し切って、これまでに作成してきた動画などを公開した。

○学会報告

学会名	発表演題
第 120 回日本精神神経学会学術総会	シンポジウム 障害者メディア事業所においてメンバーが語る（働く）ことを考える
第 31 回日本精神障害者リハビリテーション学会	語りをする当事者の体験を“とも”に再考する ～講義などの体験談発表の実践を振り返って～

② 就労定着支援事業所の運営

令和 6 年 4 月時点で、利用者 2 名が就業を継続しており、そのうち 1 名は年度内に支援を終了した。就労継続支援 B 型事業所から就労した 1 名には引き続き支援を行い、安定した就労の継続を目指す。

また、今後就労を目指す利用者に対しては、必要に応じて就労定着支援への登録を勧め、定着に向けた支援を行っていく。

（２）相談支援事業所の運営

① ココクルの運営

当法人では「精神障害者等の社会参加の促進」を目的としており、これまでデイケア通所者や家族等からの相談に応じているところである。障害者総合支援法に基づき、①就労支援事業やグループホーム等の障害福祉サービスの利用促進を図るため、②こころ・プロダクションやその他障害福祉サービスの利用更新（概ね 1 年毎）のため、平成 28 年に相談支援事業所を開設し医療から福祉へ繋がる支援を行っている。令和 6 年度の実績としては下記のとおりとなっている。

○相談実績（件数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	7
電話・メール相談	14	16	15	19	21	20	22	23	18	15	17	20	220
面接相談	18	22	20	17	19	18	16	15	14	11	13	16	199
訪問・同行支援	19	23	22	25	27	26	24	22	19	15	18	19	259
関係機関との連絡	13	19	21	20	22	19	18	16	20	16	19	21	224

2 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及

イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業

① 地域精神保健スタッフ等研修事業

a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座

今年度は未実施。

② 実習生、見学の受け入れ事業

a 施設見学等来所者状況

月	日	曜日	内 容	人数
6	5	水	札幌医科大学看護学科学生	1
6	10	月	札幌市福祉局・心のセンター職員	7
7	30	火	家庭生活カウンセリングセンター受講者	8
10	18	金	大阪市 なやクリニック職員	2
1	27	月	札幌学院大学臨床心理学科 学生・教員	6
3	24	月	市立札幌大学看護学科 学生	1
a 施設見学等来所者状況				25

b 実習生受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ

内 容	人 数
福祉系学科（札幌学院大学・星礎道都大学/社会福祉事業大学・心療福祉専門学校）	5
作業療法学科（北海道大学・札幌医科大学）	3
看護学科（北海道医療大学・札幌医科大・札幌保健医療大）	19
医学部（北海道大学）	4
計	31
実習事前訪問等対応	9回
実習指導者会議等出席（オンライン会議も含む）	3回

③ 各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業

社会福祉団体など関係機関の要請に基づき、研修会への講師派遣や企画運営等への協力・技術支援を行っている。

④ 市民講座の開催（センター祭に合わせて開催）

日 時：令和6年9月14日（土）12：30～14：00

会 場：こころのリカバリー総合支援センター

内 容：対談「がんばらないのも仕事のうち」

こころカ・プロダクションメンバーと所長との対談

その後希望者に「にんげん図書館」実施

⑤ 障害者のスポーツ振興への協力

精神障害者のスポーツ振興の意味も含め、精神障害者団体への体育館貸出などへの協力を検討中である。

⑥精神障がい者地域移行研修事業の実施

a 地域移行研修

圏域	開催日・会場 参加者数 (当事者再掲)	内 容
南渡島・ 北渡島檜山・ 南檜山	令和6年10月24日(木) 会場：北斗市「かなで〜る」 大会議室 参加者数：42名(3名)	○講義「道南における精神保健医療の変遷について」 講師：精神保健福祉士 塚八政宣氏 (前職 富田病院 医療ソーシャルワーカー) ○演習「圏域ごとに分かれて意見交換」 ○報告「圏域ごとに話し合われた内容について」
札幌	令和6年11月18日 会場：かでる2・7 520 研修室 参加者数：36名(2名)	○講義「精神障がいがある方への処遇の歴史と地域移行 〜総合的な障がい理解とともに〜」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○グループワーク ○活動報告「地域移行支援とピアサポーターについて」 報告：千歳地域移行生活支援センター ○グループワーク・全体共有
後志	令和年10月3日(木) 〜10月4日(金) 会場：小樽市生涯学習プラザ 第1・2学習室 参加者数：13名(4名)	「ピアカウンセリング研修 in しりべし」 ○オリエンテーション ○演習 信頼関係とグループづくり ○演習 信頼関係作りの基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	令和7年1月31日(金) 会場：倶知安町保健福祉 会館 参加者数42名(4名)	「〜共生社会を目指して〜支援する側もされる側も幸せ になるケアについての学び合い」 ○話題提供「高齢者支援施設において精神障がいのある 高齢者へケアを提供した実践から」 講師：NPO ロータス会 ロータス会 加藤久幸氏 倶知安福祉会 羊蹄ハイツ 有涼由紀子氏 ○講演「支援する側もされる側も幸せになるケアとは」 講師：ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院 土田正一郎氏 ○グループワーク
	令和7年2月19日(水) 会場：仁木町町民センター交 流ホール (ハイブリット開催) 参加者数：25名(3名)	○講演「ピアサポーターから高校生が得るもの 〜その学びと実践から」 講師：余市紅志高校 太田絢子氏 ○グループワーク「教育と福祉や人材育成等について」
中空知	令和7年2月20日(木) 会場：砂川市地域交流セン ターゆう 参加者数：112名(46名)	保健福祉フォーラム 〜8050を考えよう 家庭から地域へ〜 ○講義「小さな集いが生む大きな変化〜地域と共に考え るひきこもり支援」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○パネルディスカッション「それぞれの立場で語りましょう」 地域活動支援センターぼぼろ 熊谷守喜氏 砂川市社会福祉協議会 工藤真史氏 こころカ・プロダクション 管理者
北空知	令和6年11月25日(月) 会場：地域活動支援センタ ーあつぷる併設体育館 参加者数：32名	○講演「知能検査結果の見方と活用法」 講師：東ヶ丘病院 公認心理士 石井氏 ○講演「障がいの雇用に関わる就労支援」 講師：北空知圏域地域高支援協議会事務局・北空知障が い者支援センターあつぷる 石塚センター長 ○講演「ピアの育成とリカバリーストーリーの必要性」 講師：北空知障がい者支援センターあつぷる・地域活動 支援センターあつぷる 管理者野呂氏 ○講演「リカバリーストーリー」 講師：北空知障がい者支援センターあつぷる ピアサポーター 前田彩氏・秋田道江氏 ○グループワーク

圏域	開催日・会場 参加者数 (当事者再掲)	内 容
留萌	令和6年9月28日(土) 場所：留萌地域人材開発センターパワスポ留萌 (ハイブリット開催) 参加：52名(3名) 会場参加：38名 オンライン：14名	○話題提供：「地域生活支援の実践と精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」 ○実践報告1：留萌圏域地域生活支援センター 北海道社会福祉士会道北地区支部 ○実践報告2：旭川市社会福祉協議会 旭川市永山地域包括支援センター ○座談会：実践報告における登壇者4名による ○グループワーク
西胆振	令和6年7月30日 場所：広域センタービル 参加：64名(7名)	○講話「当事者からみた地域移行とピアサポーターとの協働」 講師：室蘭市相談支援センターらん ○講話・動画視聴「地域移行支援と退院後の生活」 講師：室蘭市相談支援センターらん ○グループワーク ○講義「精神障がいがある方の暮らしを地域で支える」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 ○対談「地域で生活することとは？」 講師：室蘭市相談支援センターらん ピアサポーター こころのリカバリー総合支援センター所長 ○グループワーク・全体共有
東胆振	令和7年2月27日(木) ～2月28日(金) 会場：苫小牧市地域生活支援センター 参加者数：20名(6名)	「ピアカウンセリング研修」 ○オリエンテーション ○演習 信頼関係とグループづくり ○演習 信頼関係作りの基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
日高	令和6年10月26日(土) 会場：浦河町総合文化センターふれあいホール 参加者数：8名(7名)	○研修会受講 北海道精神科リハビリテーション研究会 「北海道のメンタルヘルスのこれから ～当事者活動共に歩んだ40年の経験に学ぶ」
上川中部	令和6年6月29日(土) 会場：旭川市障がい者福祉センターおびった 参加者56名(6名)	○講義「診察室で考えていること」 講師：倶知安厚生病院 医師 土田正一郎氏 ○事例検討「私たちはなぜ苦しいのか～訴えの多い患者 とのかかわりから考える」 事例提供：医療法人社団六樹会聖台病院 石塚夕佳氏
	令和7年3月5日(水) 会場：旭川市障がい者福祉センターおびった 参加者91名(5名)	○報告「旭川市における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場(にも包括)について」 講師：旭川市福祉保険部障害福祉課 小幡泰成氏 ○講演「精神障がいの方も地域で受け入れるために必要な知識や技術、考え方について」 講師：株式会社ここから 村本 好孝氏 ○事例発表「精神障がい者を地域で受け入れたケースについて」 発表者：地域活動支援センターあしすと 佐野雄亮氏 訪問看護ステーションモモ 青木智香子氏 住まいサポートあさひかわ事務局 井上千恵氏 ○グループワーク ○意見交換 コメンテーター：株式会社ここから 村本好孝氏 旭川就労継続支援B型事業所 近佳南氏
上川北部	令和7年3月6日(水) 会場：名寄市駅前交流プラザよろーな 参加者21名(7名)	～ピアサポーターつなぐ・つながる～交流会 ○体験談発表「ピアサポーターってどんな活動しているの」 上川北部圏域・宗谷圏域ピアサポーター ○グループワーク「お互いを知り合おう」

圏域	開催日・会場 参加者数 (当事者再掲)	内 容
富良野	令和6年6月21日(金) 9:00～12:00 会場：富良野市社会福祉協 議会 参加者：10名	○講義：「精神保健福祉法改正と地域における相談支援体制等について」 講師：社会福祉法人蒼溪会 理事長 有野哲章氏 ○ホワイトボードミーティング 「相談窓口における相談援助技術について」
	令和6年6月21日(金) 13:00～16:00 会場：富良野市社会福祉協 議会 参加者：10名	○研修「社会福祉法人蒼溪会による精神障害者支援の実践」 講師：社会福祉法人蒼溪会 地域連携部長 渡邊充恵氏 ○ホワイトボードミーティング 「富良野圏域における精神障害者の地域移行・地域定着のこれからについて」
宗谷	令和7年3月6日(水) 会場：名寄市駅前交流プラ ザよろーな 参加者：5名 (4名)	～ピアサポーターつなぐ・つながる～交流会 ○体験談発表「ピアサポーターってどんな活動しているの」 上川北部ピアサポーター・宗谷圏域ピアサポーター ○グループワーク「お互いを知り合おう」 (※上川北部圏域と合同開催)
北網・遠紋	令和6年8月28日(水) 会場：北見市市民会館 小ホール 参加者 85名 (5名)	○講義「こころの病の基本～薬物療法からオープンダイア ログまで～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長 ○報告「ピアサポーターと考える～精神疾患と経験・学び・ 共感・サポート・変化～」 講師：地域生活支援センター サポートネット北見 ○行政説明「精神保健に関する制度と保健所の役割」 講師：北見保健所 保健係長 樋口氏 北見保健所 健康支援係長 小林氏 ○公開座談会「地域の支援者が今感じていること」 北見赤十字病院 新田しおみ氏 玉越病院 阿部竜也氏 端野病院 中橋大氏 道立向陽ヶ丘病院 佐藤いずみ氏 斜網地域障がい者機関相談支援センターめいと 豊田亮輔氏 北見市障がい福祉課 遠藤由香氏 斜里町民生部健康子育て課 茂木千歳氏 北見市北部地区地域包括支援センター 笹谷里美氏 ○グループワーク
十勝	令和6年11月26日(火) 会場：共栄コミュニティセン ター大集会室 参加者 63名 (5名)	○講演「精神障がい者にかかわる家族支援の視点」 講師：こころのリカバリークリニック十勝 デイケア 酒井一浩氏 ○活動報告 報告：帯広生活支援センター センター長・ピアサポーター 報告：帯広保健所健康推進課 難波誠仁氏 ○意見交換 グループワーク
釧路・根室	令和6年11月26日(火) 会場：共栄コミュニティセン ター大集会室 参加者 3名 (1名)	○講演「精神障がい者にかかわる家族支援の視点」 ○活動報告 ○意見交換 グループワーク (※十勝圏域と合同開催)

b 地域移行エリア交流（課題・テーマ別）研修会

研修概要	内 容
<札幌会場> 令和6年10月22日(火) ～10月23日(水) 会場：かでの2・7 520会議室 参加者：25名（4名）	【1日目】 ○研修の趣旨説明 ○行政説明 「北海道の精神保健医療福祉施策について」 講師：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 精神保健医療係長 渡部 直子 氏 ○演習①「圏域ごとで取り組みの振り返りと課題整理」 【2日目】 ○スキルアップ研修「心の病における対話的支援実践について ～リフレクティングをやってみよう～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○演習②「圏域を混ぜてディスカッション・アイデア出し」 ○演習③「職種別のディスカッション」 ○演習④「根付く仕組みづくりについての検討・ロードマップの再検討」 ○全体会・まとめ
<旭川会場> 令和6年11月7日(木) ～11月8日(金) 会場：旭川市障がい者福祉 センターおびつた 参加者：43名（3名）	【1日目】 ○研修の趣旨説明 ○行政説明 「北海道の精神保健医療福祉施策について」（録画） 講師：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 精神保健医療係長 渡部 直子 氏 ○演習①「圏域ごとで取り組みの振り返りと課題整理」 【2日目】 ○スキルアップ研修「心の病における対話的支援実践について ～リフレクティングをやってみよう～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○演習②「圏域を混ぜてディスカッション・アイデア出し」 ○演習③「職種別のディスカッション」 ○演習④「根付く仕組みづくりについての検討・ロードマップの再検討」 ○全体会・まとめ
<室蘭会場> 令和6年11月26日(火) ～11月27日(水) 会場：むろらん広域センタ ービル 参加者：37名（8名）	【1日目】 ○研修の趣旨説明 ○行政説明 「北海道の精神保健医療福祉施策について」（録画） 講師：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 精神保健医療係長 渡部 直子 氏 ○演習①「圏域ごとで取り組みの振り返りと課題整理」 【2日目】 ○スキルアップ研修「心の病における対話的支援実践について ～リフレクティングをやってみよう～」 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長 ○演習②「圏域を混ぜてディスカッション・アイデア出し」 ○演習③「職種別のディスカッション」 ○演習④「根付く仕組みづくりについての検討・ロードマップの再検討」 ○全体会・まとめ

c ピアサポーター研修会

研修概要	内 容
令和6年9月17日(火) ～9月19日(木) 会場：かでの2・7 820会議室 参加者：84名（68名） ハイブリッド開催 会場参加：44名 オンライン：40名	【1日目】 ○挨拶・理事長講話 ○演習・アイスブレイク ○ピアインタビュー 【2日目】 ○講演「ピアサポーターが語ることは」 講師：桃山学院大学社会学部ソーシャルデザイン学科教授 栄セツコ先生 ○演習「各圏域より“語る”を語る」 ○ワークショップ「リカバリーストーリーを聞き合おう」 【3日目】 ○ピアシンポジウム ○研修グループ振り返り

ピアサポーター研修実行委員会

開催日	内 容
第 1 回 8 月 27 日 (火)	ピアサポーター研修会の企画検討 (西胆振圏域)
第 2 回 9 月 12 日 (木)	ピアサポーター研修会の企画検討 (十勝圏域)

今年度の企画は 2 圏域のピアサポーター及び当法人職員により構成されている。

d その他

(1) センター長会議 (オンライン開催)

開催日	会議	内 容
令和 6 年 5 月 15 日	第 1 回センター長会議 (オンライン)	道内各センター長と情報交換、意見交換 (今年度研修計画、各圏域の近況報告など)
令和 7 年 1 月 21 日	第 2 回センター長会議 (オンライン)	道内各センター長と情報交換、意見交換 (来年度地域移行研修エリア別研修会、ピアサポーター会議など)

各圏域間での情報共有及び意見交換の機会となるよう道内各センター長との会議を設けた。

(2) ピアサポーター会議 (オンライン開催)

開催日	参加者	内 容
令和 6 年 4 月 18 日	49 名	新人紹介 グループトーク「みなさんのストレングス教えてください」
令和 6 年 5 月 16 日	45 名	自己紹介アイスブレイク①「自分のことを漢字一文字にしたら？」 自己紹介アイスブレイク②「GOOD&NEW」
令和 6 年 6 月 20 日	46 名	トークテーマ「夏ののり切り方」 意見交換「ピア研修について」
令和 6 年 7 月 18 日	48 名	新入ピア紹介 意見交換「ピア研修について」
令和 6 年 8 月 8 日	50 名	新入ピア紹介・アイスブレイク 意見交換「ピア研修について」
令和 6 年 10 月 17 日	40 名	テーマトーク「ピア活動と自分の時間のつかい方」
令和 6 年 11 月 16 日	45 名	新人ピア紹介 テーマトーク「もしもピアサポーターで趣味や特技の同好会やサークルをつくるとしたら、どんなものがあると楽しいですか?！」
令和 6 年 12 月 19 日	36 名	テーマトーク「長期休みどう過ごします？」 (楽しみなことや生活リズムの心配など)
令和 7 年 1 月 19 日	41 名	テーマトーク「リカバリーストーリーどう作っていますか？」発表：北空知圏域 ピアサポーター秋田さん
令和 7 年 2 月 20 日	37 名	アイスブレイク テーマトーク「なんでも同好会」
令和 7 年 3 月 13 日	47 名	テーマ「ダブルワークのピアの働き方について～楽しさと苦労」 「今後のピア会議の持ち方」

コロナ禍により地域移行支援の活動ができなくなったピアサポーターの活動へのモチベーションを保つために、他圏域のピアサポーターと交流できる場としてピアサポーター会議を継続開催した。

(3) その他 (オンライン開催)

開催日	内 容
令和 6 年 7 月 23 日 (火)	札幌市内の相談支援事業所に向けた研修会の開催についての検討 (1)
令和 6 年 9 月 10 日 (火)	札幌市内の相談支援事業所に向けた研修会の開催についての検討 (2)

本年度は、5 圏域 (札幌、北空知、西胆振、上川中部、十勝) で行われた地域移行研修において、札幌市内の相談支援事業所の参加を認め、全課程の参加者には修了証明書を発行した。

□ 高次脳機能障害者支援事業等

① 相談窓口及びリハビリ提供・地域生活支援事業【在宅生活支援事業】

1. 支援プログラムの実施状況及び相談件数

○リハビリテーションプログラム実施状況（※通所登録者数は各月末時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所登録者（人）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
実施回数（回）	22	21	22	23	22	21	23	21	22	20	19	20	256
延べ人数（人）	48	48	49	54	52	41	40	42	37	36	35	40	522
1日平均通所者（人）	2.2	2.3	2.2	2.3	2.4	2.0	1.7	2.0	1.7	1.8	1.8	2.0	

〈登録者の動向〉

高齢のため毎日の通所は困難だが活動を絞って来所される方が多い。他事業所を併用利用している方もいる。

○相談支援件数と内容

	計
電話（家族・本人）	26
電話（関係機関）	8
来所相談	54
訪問・同行	31
文書・メール	23
見学（家族・本人）	0
見学（関係機関）	1
計	143

【相談内容】

- ・本人～対人関係や生活上の悩みや不安、就労先での工夫、進学に向けての準備、日常生活における計画や手順の工夫など
- ・家族～関わりの苦労、工夫を聴くほか、本人と他の家族との意思疎通や目標確認、年金等の手続きの相談
- ・医療機関（脳神経外科・リハ科・精神科病院、クリニック）～退院後の支援、リハビリテーションについて
- ・行政機関、就労支援・介護支援・相談支援事業所～受け入れ先について、対応困難なケースについて

○同行支援・家庭訪問と内容

- ・家庭での生活状況の確認や家事等の本人の自立に向けた助言、指導を行った。

○精神科医による診察

・外来診察 【61件】

近年はデイケア利用者だけではなく、定期的な診察や生活支援のために利用する方も増えている。障害者手帳、障害年金の申請のため、復職のための診断書、裁判に係る意見書も作成。

2. 支援計画の作成と評価

○新規支援計画の作成

医師の診断とコメディカルによる認知機能、ADL 評価を行い、今後必要とされる地域資源やリハビリプログラムの検討を行った。

○本人・家族の目標設定と振り返り

	実 施 内 容
4 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
4～5 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）
10 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
10～11 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）

3. 支援調整・検討会議の開催

○施設内支援検討会議

	回数	実 施 内 容
4 月	5	対応の検討
5 月	3	対応の検討、支援計画の評価検討
6 月	2	対応の検討
10 月	1	対応の検討
11 月	1	支援計画の評価検討

○他機関との支援調整会議

実施日	参加機関	内 容
5 月 30 日	職場上司、当センター	本人の職場での様子と対応について情報共有
8 月 30 日	本人、障がい者職業センター、当センター	復職に向けた相談、職業評価について依頼
10 月 30 日	本人、職場上司、職業センター、当センター	復職に向けた調整

○その他他機関との連携

実施日	参加機関	内 容
4 月 30 日	本人、不動産会社、当センター	転居に向けて相談、内見同行
5 月 9 日	本人、区役所、当センター	年金受給に向けた相談
6 月 14 日	本人、区役所、当センター	年金受給に向けた相談
7 月 24 日	本人、区役所、当センター	年金受給に向けた相談
9 月 24 日	本人、障がい者職業センター、当センター	職業評価のフィードバック同行
3 月 6 日	本人、不動産会社、当センター	転居に向けた物件内見同行
3 月 18 日	本人、不動産会社、当センター	転居に向けた物件内見同行
3 月 28 日	本人、不動産会社、当センター	転居に向けた物件内見同行

4. 関係機関相互の情報交換及び参加研修会等

実施日	実 施 内 容	主 催
6月5日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会①	講習会実行委員会
6月26日	令和6年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	国立障害者リハビリテーションセンター
6月26日	令和6年度 第1回支援コーディネーター全国会議	国立障害者リハビリテーションセンター
7月10日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会②	講習会実行委員会
8月7日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会③	講習会実行委員会
8月29日	高次脳機能障害委託事業者打ち合わせ会議	北海道
10月2日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会④	講習会実行委員会

実施日	実 施 内 容	主 催
10月19日	北海道 高次脳機能障害 リハビリテーション講習会	講習会実行委員会
10月22日	高次脳機能障害委託事業者打ち合わせ会議	北海道
11月6日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会⑤	講習会実行委員会
12月16日	令和6年度高次脳機能障がい者支援連絡会議	北海道
2月14日	令和6年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	国立障害者リハビリテーション センター
2月14日	令和6年度第2回支援コーディネーター全国会議	国立障害者リハビリテーション センター
2月21日	令和6年度高次脳機能障がい支援者セミナー	福岡県障がい者リハビリテーシ ョンセンター
3月13日	第27回なるほど！なっとく！！高次脳機能障害	高次脳機能障害者サポートセン ター笑い太鼓

5. 支援ネットワークの構築

ホームページやパンフレット、研修会等で当施設を知った関係機関からの支援法や情報を求める連絡を受け、これまで確立したネットワークをもとに情報の伝達を行った。また、ケースを通じて就労継続事業所や保健師、介護支援専門員、訪問リハスタッフなどで支援目標の確認を共同で行うことや研修会の企画を共同で行うことで、お互いに相談でき対応の調整がしやすくなった。

6. 講演・講師派遣

○ 高次脳機能障害リハビリテーション講習会について

北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会の実行委員会事務局として運営。

日時：10月19日（土） 13:00～16:00 北海道大学学術交流会館 講堂

開催テーマ「スタッフとメンバーと一緒に考える高次脳グループリハビリテーション～生活期こそ強みを生かして希望を育む」

第1部【講演】

なやクリニック（大阪府堺市）における取り組み

講師：なやクリニック 作業療法士 江尻 知穂 氏 言語聴覚士 蜂谷 敦子 氏

概要：精神科デイケアで高次脳機能障害グループを行っている取り組みについて事例も交えながら講演していただいた。

第2部 Q&A コーナー

概要：申込時に受け付けた質問を事前に実行委員に振り分け、スライドを準備した上で当日に回答した。当日会場から回収した質問にもピックアップして答えた。内容としては、症状についてや支援体制や就労についての制度のことが寄せられた。

○ 普及啓発

北大リハビリテーション部が作成した書籍「今日はいくもり。明日は晴れ」の販売代行

ハ ひきこもり対策推進事業

- ① 北海道ひきこもり成年相談センターの運営
- ② 札幌市ひきこもり地域支援センターの運営

a 相談支援実施状況

1. 相談支援概要

○相談件数（北海道）（単位：件）

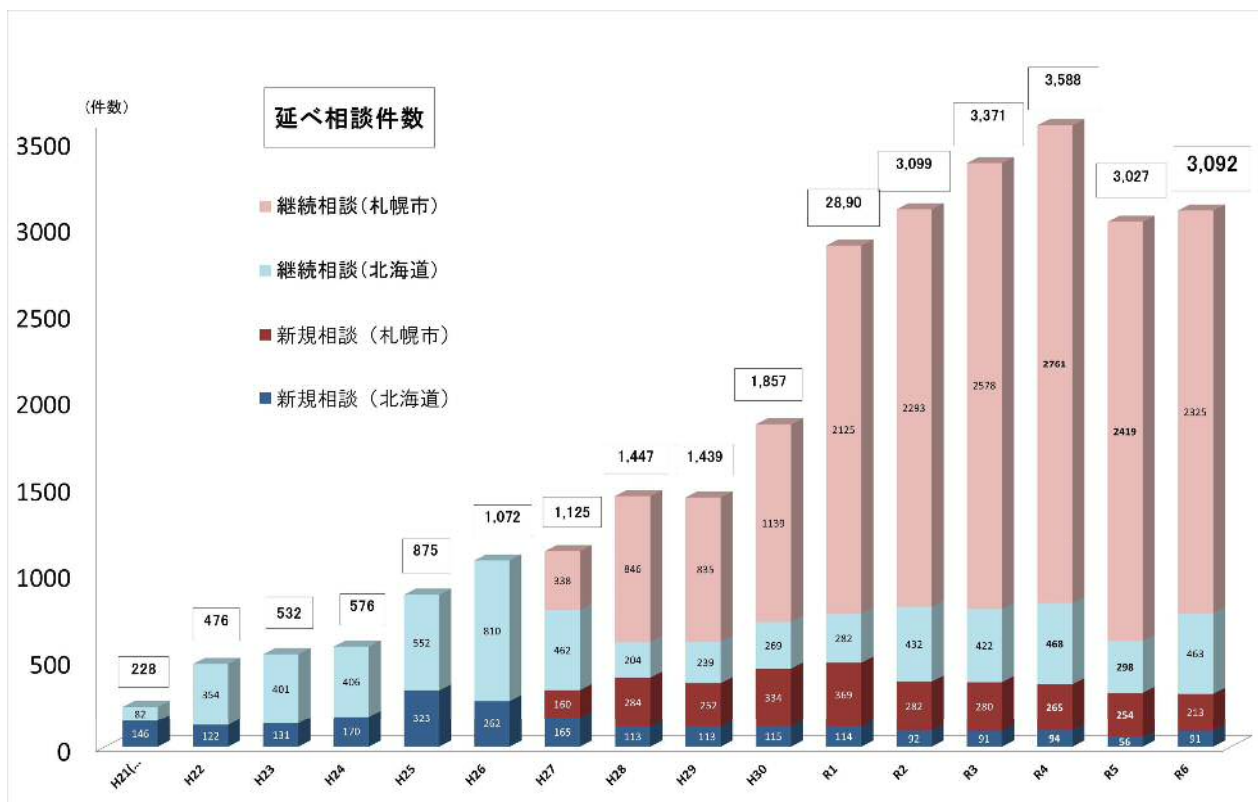
相談件数計	554
新規相談	91
継続相談	463

○相談件数（札幌市）

相談件数計	2,538
新規相談	213
継続相談	2,325

○相談件数（合計）

相談件数計	3,092
新規相談	304
継続相談	2,788



2. 相談方法別内訳

○相談方法内訳（北海道）

	新規	継続	計	構成比
電話	58	55	113	19.4%
来所	2	53	55	9.4%
メール	18	341	359	61.6%
アウトリーチ	13	10	23	3.9%
出張相談等	0	4	4	0.7%
小計	91	463	554	
連携	-	29	29	5.0%
計	91	492	583	100%

※「電話」にオンライン相談 5 件を含む

○相談方法内訳（札幌市）

	新規	継続	計	構成比
電話	144	291	435	15.8%
来所	21	1,012	1,033	37.6%
メール	24	603	627	22.8%
アウトリーチ	0	355	355	12.9%
出張相談等	24	64	88	3.2%
小計	213	2,325	2,538	
連携	-	212	212	7.7%
計	213	2,537	2,750	100%

※「電話」にオンライン相談 3 件を含む

○相談方法内訳（合計）

	新規	継続	計	構成比
電話	202	346	548	16.4%
来所	23	1,065	1,088	32.6%
メール	42	944	986	29.6%
アウトリーチ	13	365	378	11.3%
出張相談等	24	68	92	2.8%
小計	304	2,788	3,092	
連携	-	241	241	7.2%
計	304	3,029	3,333	100%

※「電話」にオンライン相談 8 件を含む

3. ひきこもり相談から当法人の精神科デイケアを活用したケース

ひきこもり相談において、一部のケースでは状況によって精神科の治療が必要なケースがある。

○精神科デイケアへの通所

	北海道	札幌市	総計
令和 6 年度	0 名	5 名	5 名
平成 27 年度～令和 5 年度	-	47 名	86 名
平成 21 年度～令和 5 年度	39 名	-	
計	39 名	47 名	91 名

○ひきこもり外来状況

年度	北海道		札幌市		総計
	令和 6 年度	平成 21 年度～ 令和 5 年度	令和 6 年度	平成 27 年度～ 令和 5 年度	
新規ケース	1 名	70 名	23 名	168 名	262 名
延べ回数	14 回	468 回	739 回	3, 239 回	4, 460 回

ｂ 支援ネットワークの構築等

1. ひきこもり支援者連絡会議実施状況（北海道）

「ひきこもり相談会・研修会」として、各保健所および市町村に希望確認後、連絡調整し、道内各地において研修会等をオンラインも含め実施した。今年度は約 470 名の参加があった。希望のあった地域は次のとおり（小樽市、音更町、厚真町、倶知安町、静内町、新ひだか町、苫小牧市、千歳市、稚内市、豊富町、室蘭市、弟子屈町、鶴居村、月形町、壮瞥町、釧路市、釧路町、余市町、枝幸町、旭川市、白老町、洞爺湖町、鹿追町、清水町、京極町、石狩市、北広島市、江別市、北見市）

2 ひきこもり出張無料相談会・よりどころ実施状況（札幌市）

○ひきこもり出張無料相談会実施状況

当センターの通常相談の開設日は平日の日中である。相談者によっては、平日の日中は「仕事があり相談ができない」等、多様なニーズが考えられる。そのため、「ひきこもり出張無料相談会」は各月 4 回程度（平日水曜日 2 回、土曜日・日曜日 1 回ずつ）13：30～16：00 に実施した（1 回あたり最大 4 件まで予約可）。

「ひきこもり出張無料相談会」の実施にあたっては、当センターのホームページ、10 区役所・10 区民センターおよび他関係機関へのチラシ配布等で周知を行った。各回、申込状況に合わせて相談員を調整した。

○居場所「よりどころ」（親の会・当事者会）への専門職の派遣

NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークが実施している居場所「よりどころ」に「親の会」へ相談員を派遣した。また、「親の会」では月 1 回、「学習会」として、「親の接し方や声掛け、病気や障害について等」、当センターから参加者に向けて伝えた。よりどころから新規相談に繋がったケースや、以前相談歴があり、「よりどころ」がきっかけで再相談に至ったケース、当センターの相談者が「親の会・当事者会」に繋がるケースもあり、社会資源の 1 つになっている。

ｃ 普及啓発、事業概要説明

問い合わせ、相談先の掲載、インタビュー（報道機関や大学の研究等）やアンケート協力、リーフレット送付インターネットによる発信等により、ひきこもりに関する正しい知識の普及に努めた。「当センターを知ったきっかけ」として、「ホームページ」がもっとも多い。

○ひきこもり相談ホームページアクセス件数（各ページ合計）

・令和 6 年度（13, 196 件） ※1 日あたり約 36 回のアクセス

③研修会

○ひきこもり支援機関関係職員等研修会

月	日	実 施 内 容	備 考
1	28	令和6年度（2026年度）ひきこもり支援対策研修会兼ひきこもり支援機関関係職員等研修会（北海道障がい者保健福祉課と合同開催） ・ひきこもり当事者2名とのトークセッション（1名は当センター相談者） 参加者：251名	ZOOM開催

○ひきこもりサポーター養成研修事業

月	日	実 施 内 容	備 考
10	28	令和6年度 ひきこもりサポーター養成協議会 ※設置要綱 別紙2)	対面
3	18 ～ 24	令和6年度 ひきこもりサポーター養成研修 ・「ピア活動をしてみての経験談」 ・「ピアを含むサポーターを養成していくためのシステムづくり」 インターネット配信期間：3/18(火)～3/24(月) 講師：当事者ピア、家族ピア 参加者居住地内訳：北海道49名(札幌市以外)、札幌市4名	-

※遠方であるなど道内の参加しやすさを考慮し、引き続き「動画配信」による研修会として行った。申込者にはパスワードを通知し限定公開とし、1週間（24時間いつでも）閲覧できるよう工夫を凝らした。

3 会 計 部 門

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	33,620,263	34,966,781	△1,346,518
普通預金	33,620,263	34,966,781	△1,346,518
未収金	15,179,810	15,238,449	△58,639
前払金	70,000	70,000	
流動資産合計	48,870,073	50,275,230	△1,405,157
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,977,986	49,977,986	
諸貯金	22,014	22,014	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	36,183,521	32,849,474	3,334,047
減価償却引当資産	42,372,853	42,372,853	
土地	347,016,000	347,016,000	
建物	497,434,011	497,434,011	
什器備品	23,931,433	24,179,809	△248,376
減価償却累計額 △	451,210,152	442,289,038	8,921,114
特定資産合計	495,727,666	501,563,109	△5,835,443
(3) その他固定資産			
構築物	7,414,959	7,414,959	
車両運搬具	299,000	299,000	
減価償却累計額 △	7,652,151	7,586,479	65,672
電話加入権	352,024	352,024	
預託金	24,000	24,000	
その他固定資産合計	437,832	503,504	△65,672
固定資産合計	546,165,498	552,066,613	△5,901,115
資産の部合計	595,035,571	602,341,843	△7,306,272
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	5,529,775	4,282,653	1,247,122
未払消費税等	1,005,700	780,400	225,300
預り金	677,349	652,504	24,845
1年内返済予定長期借入金	1,722,000		1,722,000
流動負債合計	8,934,824	5,715,557	3,219,267
2 固定負債			
長期借入金	23,278,000	25,000,000	△1,722,000
退職給付引当金	36,183,521	32,849,474	3,334,047
固定負債合計	59,461,521	57,849,474	1,612,047
負債の部合計	68,396,345	63,565,031	4,831,314
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	87,694,819	96,331,992	△8,637,173
民間助成金	375,303		375,303
寄付金	30,000,000	30,000,000	
受贈土地	347,016,000	347,016,000	
指定正味財産合計	465,086,122	473,347,992	△8,261,870
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	()
(うち特定資産への充当額)	(415,086,122)	(423,347,992)	(△8,261,870)
2 一般正味財産	61,553,104	65,428,820	△3,875,716
(うち特定資産への充当額)	(44,458,023)	(45,365,643)	(△907,620)

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
正味財産の部合計	526,639,226	538,776,812	△12,137,586
負債及び正味財産合計	595,035,571	602,341,843	△7,306,272

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	220,042	251,940	△31,898
基本財産受取利息	220,042	251,940	△31,898
特定資産運用益	10,736	40,342	△29,606
特定資産受取利息	10,736	40,342	△29,606
事業収益	85,596,673	89,128,848	△3,532,175
診療収益	54,657,462	58,072,801	△3,415,339
就労支援事業収益	6,743,378	6,578,739	164,639
訓練等給付費収益	22,729,107	23,118,733	△389,626
就労支援自己負担金収益	291,200	378,400	△87,200
計画相談支援給付費収益	688,086	542,255	145,831
その他の事業収益	487,440	437,920	49,520
受取補助金等	41,027,839	37,152,742	3,875,097
受取国庫補助金		346,000	△346,000
受取民間助成金	68,296	100,000	△31,704
受取補助金等振替額	8,689,574	8,637,173	52,401
北海道委託金	13,423,669	13,473,669	△50,000
札幌市委託金	18,846,300	14,595,900	4,250,400
受取寄付金	360,300	369,700	△9,400
受取寄付金	360,300	369,700	△9,400
雑収益	379,470	817,406	△437,936
受取利息	41,160	753	40,407
雑収益	338,310	816,653	△478,343
経常収益計	127,595,060	127,760,978	△165,918
(2) 経常費用			
事業費	117,414,589	113,761,113	3,653,476
給料手当	56,760,096	55,139,598	1,620,498
臨時雇賃金	7,322,167	6,505,834	816,333
退職給付費用	3,033,984	4,361,532	△1,327,548
福利厚生費	9,099,793	8,943,961	155,832
旅費交通費	1,175,752	1,826,887	△651,135
通信運搬費	751,716	697,962	53,754
減価償却費	9,038,231	9,169,194	△130,963
消耗什器備品費	323,729	172,480	151,249
消耗品費	2,404,074	2,104,571	299,503
修繕費	2,425,197	577,863	1,847,334
印刷製本費	114,019	25,653	88,366
燃料費	1,524,445	1,577,005	△52,560
光熱水料費	2,441,712	2,382,886	58,826
賃借料	1,960,832	1,872,279	88,553
保険料	513,826	532,929	△19,103
諸謝金	2,108,371	2,085,000	23,371
租税公課	1,903,843	1,680,751	223,092
支払負担金	433,516	571,094	△137,578
委託費	6,214,235	6,049,580	164,655
デイケア材料費	960,869	897,417	63,452
利用者工賃	5,860,842	5,218,788	642,054
支払手数料	1,005,840	1,284,450	△278,610
支払利息	37,500	83,399	△45,899

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	14,056,187	14,081,636	△25,449
役員報酬	81,400	85,100	△3,700
給料手当	8,974,417	8,893,264	81,153
臨時雇賃金	36,667	32,227	4,440
退職給付費用	300,063	431,361	△131,298
福利厚生費	1,763,490	1,780,420	△16,930
会議費	29,650	23,316	6,334
旅費交通費	33,960	14,360	19,600
通信運搬費	71,792	72,522	△730
減価償却費	624,635	725,338	△100,703
消耗什器備品費	62,371		62,371
消耗品費	130,654	127,047	3,607
修繕費	173,439	41,497	131,942
燃料費	106,404	109,744	△3,340
光熱水料費	153,956	149,871	4,085
賃借料	93,315	98,572	△5,257
保険料	55,324	51,211	4,113
租税公課	27,357	20,899	6,458
支払負担金	62,205	48,006	14,199
雑費		33,200	△33,200
支払手数料	134,943	213,781	△78,838
委託費	1,140,145	1,129,900	10,245
経常費用計	131,470,776	127,842,749	3,628,027
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,875,716	△81,771	△3,793,945
評価損益等計			
当期経常増減額	△3,875,716	△81,771	△3,793,945
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損		1	△1
什器備品売却損		1	△1
経常外費用計		1	△1
当期経常外増減額		△1	1
税引前当期一般正味財産増減額	△3,875,716	△81,772	△3,793,944
当期一般正味財産増減額	△3,875,716	△81,772	△3,793,944
一般正味財産期首残高	65,428,820	65,510,592	△81,772
一般正味財産期末残高	61,553,104	65,428,820	△3,875,716
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	427,704		427,704
受取民間助成金	427,704		427,704
一般正味財産への振替額	8,689,574	8,637,173	52,401
一般正味財産への振替額	8,689,574	8,637,173	52,401
当期指定正味財産増減額	△8,261,870	△8,637,173	375,303
指定正味財産期首残高	473,347,992	481,985,165	△8,637,173
指定正味財産期末残高	465,086,122	473,347,992	△8,261,870
III 正味財産期末残高	526,639,226	538,776,812	△12,137,586

正味財産増減計算書内訳表
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		220,042		220,042
基本財産受取利息		220,042		220,042
特定資産運用益	9,769	967		10,736
特定資産受取利息	9,769	967		10,736
事業収益	73,459,551	13,167,246	△1,030,124	85,596,673
診療収益	41,490,216	13,167,246		54,657,462
就労支援事業収益	7,773,502		△1,030,124	6,743,378
訓練等給付費収益	22,729,107			22,729,107
就労支援自己負担金収益	291,200			291,200
計画相談支援給付費収益	688,086			688,086
その他の事業収益	487,440			487,440
受取補助金等	40,449,149	578,690		41,027,839
受取民間助成金	68,296			68,296
受取補助金等振替額	8,110,884	578,690		8,689,574
北海道委託金	13,423,669			13,423,669
札幌市委託金	18,846,300			18,846,300
受取寄付金	360,300			360,300
受取寄付金	360,300			360,300
雑収益	336,173	43,297		379,470
受取利息	41,160			41,160
雑収益	295,013	43,297		338,310
経常収益計	114,614,942	14,010,242	△1,030,124	127,595,060
(2) 経常費用				
事業費	118,444,713		△1,030,124	117,414,589
給料手当	56,760,096			56,760,096
臨時雇賃金	7,322,167			7,322,167
退職給付費用	3,033,984			3,033,984
福利厚生費	9,099,793			9,099,793
旅費交通費	1,175,752			1,175,752
通信運搬費	751,716			751,716
減価償却費	9,038,231			9,038,231
消耗什器備品費	323,729			323,729
消耗品費	2,404,074			2,404,074
修繕費	2,425,197			2,425,197
印刷製本費	114,019			114,019
燃料費	1,524,445			1,524,445
光熱水料費	2,441,712			2,441,712
賃借料	1,960,832			1,960,832
保険料	513,826			513,826
諸謝金	2,108,371			2,108,371
租税公課	1,903,843			1,903,843
支払負担金	433,516			433,516
委託費	6,214,235			6,214,235
デイケア材料費	960,869			960,869
利用者工賃	5,860,842			5,860,842
支払手数料	2,035,964		△1,030,124	1,005,840
支払利息	37,500			37,500
管理費		14,056,187		14,056,187
役員報酬		81,400		81,400
給料手当		8,974,417		8,974,417
臨時雇賃金		36,667		36,667
退職給付費用		300,063		300,063
福利厚生費		1,763,490		1,763,490
会議費		29,650		29,650
旅費交通費		33,960		33,960
通信運搬費		71,792		71,792
減価償却費		624,635		624,635
消耗什器備品費		62,371		62,371
消耗品費		130,654		130,654
修繕費		173,439		173,439
燃料費		106,404		106,404

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
光熱水料費		153,956		153,956
賃借料		93,315		93,315
保険料		55,324		55,324
租税公課		27,357		27,357
支払負担金		62,205		62,205
支払手数料		134,943		134,943
委託費		1,140,145		1,140,145
経常費用計	118,444,713	14,056,187	△1,030,124	131,470,776
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,829,771	△45,945		△3,875,716
評価損益等計				
当期経常増減額	△3,829,771	△45,945		△3,875,716
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△3,829,771	△45,945		△3,875,716
税引前当期一般正味財産増減額	△3,829,771	△45,945		△3,875,716
当期一般正味財産増減額	△3,829,771	△45,945		△3,875,716
一般正味財産期首残高	58,235,515	7,193,305		65,428,820
一般正味財産期末残高	54,405,744	7,147,360		61,553,104
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	427,704			427,704
受取民間助成金	427,704			427,704
一般正味財産への振替額	8,110,884	578,690		8,689,574
一般正味財産への振替額	8,110,884	578,690		8,689,574
当期指定正味財産増減額	△7,683,180	△578,690		△8,261,870
指定正味財産期首残高	468,233,739	5,114,253		473,347,992
指定正味財産期末残高	460,550,559	4,535,563		465,086,122
III 正味財産期末残高	514,956,303	11,682,923		526,639,226

財 産 目 録

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 普通預金 未収金 前払金	北洋銀行白石中央支店他5口座 診療報酬、診療報酬自己負担分他 前払家賃	運転資金として	33,620,263 33,620,263 15,179,810 70,000
流動資産合計				48,870,073
(固定資産)	基本財産			
特定資産	投資有価証券	第373回利付国債他	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	49,977,986
	諸貯金	北洋銀行白石中央支店	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	22,014
	退職給付引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、32,927,005円は公益目的事業会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。	36,183,521
	減価償却引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、3,256,516円は法人会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。 右記金額のうち、39,533,870円は公益目的事業会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	42,372,853
その他固定資産	土地	4,819.66㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、2,838,983円は法人会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	347,016,000
	建物	1,793.7㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、464,243,115円は公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	497,434,011
	什器備品	応接セット他67点	右記金額のうち、33,190,896円は管理活動財産であり、法人会計の施設に使用している。	23,931,433
	減価償却累計額 △		右記金額のうち、23,820,888円は公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	451,210,152
	構築物	館名板他3点	公益目的保有財産であり、公益目的事業の設備として使用している。	7,414,959
	車両運搬具	トヨタウイッシュ1台	管理活動財産であり、法人会計において使用している。	299,000
	減価償却累計額 △		公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	7,652,151
	電話加入権	日本電信電話㈱	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	352,024
その他固定資産	預託金	事業所敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用し事業所敷金である。	24,000
固定資産合計				546,165,498
資産合計				595,035,571
(流動負債)	未払金 未払消費税等 預り金 1年内返済予定長期借入金	職員及び商業者等に対する未払額 令和6年度消費税 社会保険料職員自己負担分他 独立行政法人福祉医療機構	公益目的事業会計及び法人会計での給与手当及び経常経費の未払分である。	5,529,775 1,005,700 677,349 1,722,000
流動負債合計				8,934,824
(固定負債)	長期借入金 退職給付引当金	独立行政法人福祉医療機構 職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	23,278,000 36,183,521
固定負債合計				59,461,521
負債合計				68,396,345
正味財産				526,639,226

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

個別原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,977,986			49,977,986
諸貯金	22,014			22,014
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
土地	347,016,000			347,016,000
建物	78,426,180		9,278,512	69,147,668
什器備品	898,602	427,704	318,682	1,007,624
退職給付引当資産	32,849,474	3,334,047		36,183,521
減価償却引当資産	42,372,853			42,372,853
小 計	501,563,109	3,761,751	9,597,194	495,727,666
合 計	551,563,109	3,761,751	9,597,194	545,727,666

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,977,986	49,977,986		
諸貯金	22,014	22,014		
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
土地	347,016,000	347,016,000		
建物	69,147,668	67,694,796	1,452,872	
什器備品	1,007,624	375,326	632,298	
退職給付引当資産	36,183,521			36,183,521
減価償却引当資産	42,372,853		42,372,853	
小 計	495,727,666	415,086,122	44,458,023	36,183,521
合 計	545,727,666	465,086,122	44,458,023	36,183,521

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した 残額のみを記載した場合）
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	15,179,810		15,179,810
合 計	15,179,810	0	15,179,810

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債権並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
第373回利付国債	30,017,971	28,462,230	△ 1,555,741
札幌市平成27年度第9回公募公債	19,960,015	19,898,108	△ 61,907
合 計	49,977,986	48,360,338	△ 1,617,648

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
地域移行支援事業	北海道		7,229,669	7,229,669	0	一般正味財産
高次脳機能事業	〃		1,547,000	1,547,000	0	一般正味財産
ひきこもり事業	〃		4,647,000	4,647,000	0	一般正味財産
ひきこもり事業	札幌市		18,846,300	18,846,300	0	一般正味財産
補助金						
開設時施設整備	北海道	96,331,992		8,637,173	87,694,819	指定正味財産
助成金						
赤い羽根助成	札幌市共募		68,296	68,296	0	一般正味財産
赤い羽根助成	札幌市共募		427,704	52,402	375,302	指定正味財産
赤い羽根助成	札幌市共募	0	1	0	1	指定正味財産
合 計		96,331,992	32,765,970	41,027,840	88,070,122	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	8,637,173
民間助成金当期使用分振替額	52,402
過年度損益修正による振替額	-1
合 計	8,689,574

11. 関連当事者との取引の内容
該当なし

12. 重要な後発事象
該当なし

13. その他
該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	49,977,986			49,977,986
	諸貯金	22,014			22,014
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	土地	347,016,000			347,016,000
	建物	78,426,180		9,278,512	69,147,668
	什器備品	898,602	427,704	318,682	1,007,624
	退職給付引当資産	32,849,474	3,334,047		36,183,521
	減価償却引当資産	42,372,853			42,372,853
	特定資産計	501,563,109	3,761,751	9,597,194	495,727,666

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	32,849,474	3,334,047			36,183,521

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	執行率
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	240,000	220,042	△19,958	91.68
基本財産利息収入	240,000	220,042	△19,958	91.68
(2) 特定資産運用収入	1,000	10,736	9,736	***. **
特定資産利息収入	1,000	10,736	9,736	***. **
(5) 事業収入	93,899,000	85,596,673	△8,302,327	91.16
診療収入	60,152,000	54,657,462	△5,494,538	90.87
研修事業収入	256,000		△256,000	
就労支援事業収入	6,061,000	6,743,378	682,378	111.26
訓練等給付費収入	26,000,000	22,729,107	△3,270,893	87.42
就労支援自己負担金収入	432,000	291,200	△140,800	67.41
計画相談支援給付費収入	598,000	688,086	90,086	115.06
その他の事業収入	400,000	487,440	87,440	121.86
(6) 補助金等収入	32,815,000	32,765,969	△49,031	99.85
民間助成金収入	496,000	496,000		100.00
北海道委託金収入	13,473,000	13,423,669	△49,331	99.63
札幌市委託金収入	18,846,000	18,846,300	300	100.00
(8) 寄付金収入	300,000	360,300	60,300	120.10
寄付金収入	300,000	360,300	60,300	120.10
(9) 雑収入	306,000	379,470	73,470	124.01
受取利息収入	1,000	41,160	40,160	***. **
雑収入	305,000	338,310	33,310	110.92
事業活動収入計	127,561,000	119,333,190	△8,227,810	93.55
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	108,040,000	105,342,374	2,697,626	97.50
給料手当支出	56,803,000	56,760,096	42,904	99.92
臨時雇賃金支出	7,323,000	7,322,167	833	99.99
福利厚生費支出	9,100,000	9,099,793	207	100.00
旅費交通費支出	1,181,000	1,175,752	5,248	99.56
通信運搬費支出	752,000	751,716	284	99.96
消耗什器備品費支出	324,000	323,729	271	99.92
消耗品費支出	2,405,000	2,404,074	926	99.96
修繕費支出	2,426,000	2,425,197	803	99.97
印刷製本費支出	356,000	114,019	241,981	32.03
燃料費支出	1,709,000	1,524,445	184,555	89.20
光熱水料費支出	2,846,000	2,441,712	404,288	85.79
賃借料支出	1,961,000	1,960,832	168	99.99
保険料支出	642,000	513,826	128,174	80.04
諸謝金支出	2,369,000	2,108,371	260,629	89.00
租税公課支出	1,992,000	1,903,843	88,157	95.57
負担金支出	434,000	433,516	484	99.89
委託費支出	6,388,000	6,214,235	173,765	97.28
雑支出	50,000		50,000	
医薬材料費支出	20,000		20,000	
デイケア材料費支出	961,000	960,869	131	99.99
利用者工賃支出	5,861,000	5,860,842	158	100.00
手数料支出	2,099,000	1,005,840	1,093,160	47.92
支払利息	38,000	37,500	500	98.68
(2) 管理費支出	13,562,000	13,131,489	430,511	96.83
役員報酬支出	141,000	81,400	59,600	57.73
給料手当支出	8,975,000	8,974,417	583	99.99
臨時雇賃金	46,000	36,667	9,333	79.71

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	執行率
福利厚生費支出	1,770,000	1,763,490	6,510	99.63
会議費支出	40,000	29,650	10,350	74.13
旅費交通費支出	35,000	33,960	1,040	97.03
通信運搬費支出	76,000	71,792	4,208	94.46
消耗什器備品費支出	63,000	62,371	629	99.00
消耗品費支出	180,000	130,654	49,346	72.59
修繕費支出	182,000	173,439	8,561	95.30
燃料費支出	129,000	106,404	22,596	82.48
光熱水料費支出	235,000	153,956	81,044	65.51
賃借料支出	117,000	93,315	23,685	79.76
火災保険料支出	75,000	55,324	19,676	73.77
租税公課支出	28,000	27,357	643	97.70
負担金支出	102,000	62,205	39,795	60.99
手数料支出	194,000	134,943	59,057	69.56
委託費支出	1,174,000	1,140,145	33,855	97.12
事業活動支出計	121,602,000	118,473,863	3,128,137	97.43
事業活動収支差額	5,959,000	859,327	△5,099,673	14.42
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
(2) 特定資産取得支出	5,959,000	3,761,751	2,197,249	63.13
退職給付引当資産取得支出	3,336,000	3,334,047	1,953	99.94
減価償却引当資産取得支出	2,127,000		2,127,000	
什器備品取得支出	496,000	427,704	68,296	86.23
投資活動支出計	5,959,000	3,761,751	2,197,249	63.13
投資活動収支差額	△5,959,000	△3,761,751	2,197,249	63.13
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
Ⅳ 予備費支出				
当期収支差額		△2,902,424	△2,902,424	
前期繰越収支差額	34,979,000	44,559,673	9,580,673	127.39
次期繰越収支差額	34,979,000	41,657,249	6,678,249	119.09

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、未払消費税等、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	34,966,781	33,620,263
未 収 金	15,238,449	15,179,810
前 払 金	70,000	70,000
合 計	50,275,230	48,870,073
未 払 金	4,282,653	5,529,775
未 払 消 費 税 等	780,400	1,005,700
預 り 金	652,504	677,349
合 計	5,715,557	7,212,824
次期繰越収支差額	44,559,673	41,657,249

4 監 査 報 告

監 査 報 告 書

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

理事長 阿 部 幸 弘 様

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

令和 7 年 5 月 16 日

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事

今井 賢一



監 事

児玉 真史



資 料 編

1 理事・監事・評議員名簿

(令和7年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	阿 部 幸 弘	こころのリカバリー総合支援センター所長
副理事長	松 原 良 次	北海道精神病院協会会長 札幌花園病院名誉院長
常務理事	蓑 島 信 彦	北海道精神保健推進協会事務局長
理 事	高 橋 義 人	北海道精神神経科診療所協会会長 桑園メンタルクリニック院長
理 事	小 出 英 子	NPO法人オーク会副理事長
理 事	人 見 嘉 哲	北海道保健福祉部技監
理 事	成 澤 元 宏	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部長
理 事	中 村 未太郎	北海道精神障害者家族連合会会長
理 事	柳 川 久美子	北海道中小企業家同友会札幌支部インクルーシブ委員会委員長
監 事	兒 玉 真 史	北海道新聞社常勤監査役
監 事	今 井 賢 一	北洋銀行公金・地域産業支援部担当部長兼公務金融室長
評 議 員	小 川 圭 太	北海道大学病院リハビリテーション部副療法士長
評 議 員	岡 崎 大 介	北海道精神保健福祉センター所長
評 議 員	鎌 田 隼 輔	札幌市保健福祉局精神保健福祉センター所長
評 議 員	菅 原 悦 子	NPO法人札幌市精神障害者家族連合会会長
評 議 員	池 田 桂 子	こころのリカバリー総合支援センター「リラの会」会長
評 議 員	矢 部 滋 也	一般社団法人北海道ピアサポート協会代表理事
評 議 員	田 中 美奈子	こころのリカバリー総合支援センター医療参事
評 議 員	土 肥 一 一	こころのリカバリー総合支援センターOB会会長
評 議 員	西 村 正 樹	認定NPO法人DP I (障害者インターナショナル) 日本会議 副議長

2 財団法人設立から、今日までの経過等

昭和62年	7月 7日	財団法人設立準備委員会発足(第1回会議)
〃	8月10日	財団法人北海道精神保健推進協会(仮称)設立準備委員会(第2回会議)
〃	8月11日	財団法人北海道精神保健推進協会(仮称)設立発起人会(設立総会)
昭和62年	8月20日	民法第34条の規定に基づく財団法人北海道精神保健推進協会設立許可申請
〃	9月 1日	同上許可(北海道知事)
〃	9月 1日	財団法人北海道精神保健推進協会事務局設置
〃	9月10日	法人登記
平成 元年	2月16日	「札幌デイ・ケアセンター」開設
〃 21年	4月 1日	「こころのリカバリー総合支援センター」に改称
〃 24年	4月 1日	財団法人から公益財団法人へ移行

- 〃 26年 6月16日 就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」開設
- 〃 28年 6月16日 就労移行支援事業所「こcosta」開設
- 〃 28年 6月16日 相談支援事業所「ココクル」開設
- 〃 30年 4月 1日 就労定着支援事業所開設（こころカ・プロダクション内）
- 令和 2年 4月 1日 就労移行支援事業所「こcosta」の名称を多機能型事業所「こころカ・プロダクション」に統一

3 施設の概要

(1)「こころのリカバリー総合支援センター」

所在地	札幌市白石区平和通 17 丁目北 1 番 13 号		
建物構造	鉄筋コンクリート 1 部 2 階建		
面積	敷地面積	4, 819. 66 m ²	
	建築延面積	1, 793. 7 m ²	
	・管理訓練棟	1, 315. 5 m ²	
	(うち 90. 7 m ² を「ここプロ」「ココクル」で使用)		
	・体育館	463. 20 m ²	
付属設備	・附属建物	15. 00 m ²	
	テニスコート	1 面	

(2)「こころカ・プロダクション」

所在地	札幌市白石区平和通 15 丁目北 13 番 18 号		
建物	民間住宅借上	木造 3LDK	90.26 m ²

4 基本財産

基本財産の総額は 5,000 万円で、すべて関係団体の寄附金及び北海道、札幌市からの出捐金であり、その内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

機 関、団 体 名	金 額
北海道精神病院協会	10,000,000
北海道精神障害者家族連合会	10,000,000
札幌市婦人福祉推進協会	10,000,000
北海道	10,000,000
札幌市	10,000,000
計	50,000,000